

特殊車両自動計測設備設計業務

業務の目的

設計対象路線は、特殊車両の通行量が多いことから、特殊車両自動計測設備を設置し、ドライバーに対する警告と地域住民に対する騒音軽減対策などに反映させることを目的とする。

設備概要

設置設備

- ・ 車重検出装置・・・鋼製薄型マルチロードセル方式による計測
- ・ 車高検出装置・・・超音波パルス反射方式による感知
- ・ 車長検出装置・・・ストロボ発光カメラ方式
- ・ 自動ナンバー認識装置
- ・ 情報表示板
- ・ データ処理装置

設備の特徴

- ①特殊車両自動計測設備に対する各社の技術動向および測定精度などについて調査し、今回対象箇所に適する機器仕様を採用した。
- ②取付区間の短い箇所に対して設備計画を行った。
- ③違反車両のナンバーのみをデータ処理し、それ以外のデータは消去する処理フローとした。

今後の技術的課題

- ①各社の特殊車両自動計測設備に対する最新の技術動向を調査し、各路線に適合した設備（方式）決定を行う必要がある。
- ②効果検証としてデータの誤認率などを整理し、より精度の高い設備とするための対策を講じる必要がある。
- ③車線またぎ車両や、片輪路肩走行車両などに対する対策案を講じる必要がある。
- ④ナンバー読み取りに関する精度向上方法を検討する必要がある。